

ブロック名：免疫(ブロック②)

月日	曜日	時限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
4.2	火	I	膠原病総論	川畑 仁人	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. 膠原病およびその類縁疾患の特徴や分類を説明できる。 2. 膠原病の発症機序について説明できる。 3. Raynaud現象および抗核抗体について説明できる。	教科書およびアップされている資料に事前に目を通して予習しておくこと。
"	"	II	全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群	"	"	1. SLEの臨床所見や検査所見について説明できる。 2. SLEの重症度別の治療について説明できる。 3. APSの臨床所見や検査所見、治療について説明できる。	"
"	"	III	若年性特発性関節炎、自己炎症症候群、小児膠原病	森 雅亮(非)	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. JIAの病型・治療を説明できる。 2. 自己炎症症候群の病型・治療を説明できる。	"
4.3	水	I	Sjogren症候群、IgG4関連疾患	永渕 裕子	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. Sjogren症候群の病態、症状、検査、診断を説明できる。 2. IgG4関連疾患について説明できる。 3. Sjogren症候群とMikulicz病の相違点について説明できる。	"
"	"	II	強皮症、成人発症スチル病	山崎 宜興	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. 強皮症の病型と特徴を説明できる。 2. 強皮症の臓器病変と治療や予後を説明できる。 3. 成人発症スチル病の症状・病態を説明できる。	"
"	"	III	混合性結合組織病、オーバーラップ症候群、再発性多発軟骨炎	鈴木 豪	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. 混合性結合組織病の概念を説明できる。 2. オーバーラップ症候群の概念を説明できる。 3. 再発性多発軟骨炎の病態、診断、治療について説明できる。	"
4.4	木	I	血管炎総論	川畑 仁人	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. 代表的な血管炎を罹患血管サイズに基づき列挙できる。 2. 罹患血管サイズと症状の関係を説明できる。 3. 血管炎の治療法を概説できる。	"
"	"	II	大型血管炎（高安動脈炎、巨細胞性動脈炎）	永渕 裕子	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. 高安動脈炎の病態、症状、診断、治療を説明できる。 2. 巨細胞性動脈炎の病態、症状、診断、治療を説明できる。 3. リウマチ性多発筋痛症について説明できる。	"
"	"	III	中型血管炎（結節性多発動脈炎、川崎病）	"	"	1. 結節性多発動脈炎の臨床所見、検査所見について説明できる。 2. 結節性多発動脈炎の診断について説明できる。 3. 川崎病の臨床所見や検査所見について説明できる。	"
4.5	金	I	小型血管炎（ANCA関連血管炎、免疫複合体性血管炎）	大岡 正道	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. ANCA関連血管炎を列挙し、臨床所見、検査所見について説明できる。 2. 免疫複合体性血管炎の臨床所見、検査所見について説明できる。 3. 抗GBM抗体症候群の臨床所見や検査所見について説明できる。	"
"	"	II	種々の血管を侵す血管炎（Behcet病、Cogan症候群）	鈴木 豪	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. Behcet病の病態、診断、治療について説明できる。 2. Cogan症候群病態、診断、治療について説明できる。	"
"	"	III	多発性筋炎・皮膚筋炎	大岡 正道	リウマチ膠原病アレルギー内科	1. 多発性筋炎・皮膚筋炎の臨床所見や検査所見について説明できる。 2. 多発性筋炎・皮膚筋炎の重症病態について説明できる。 3. 抗ARS抗体症候群の臨床所見や検査所見について説明できる。	"